

写

平成 22 年 10 月 19 日

広島県知事 湯 崎 英 彦 様

広島県総合計画審議会
会長 福 田 督

新たな総合計画について（答申）

平成 21 年 6 月 12 日付け政企第 1 号で諮問がありました新たな総合計画及び分権改革推進プログラムについては、これまでに 7 回の審議会、18 回の小委員会において調査審議を重ねて参りました。

この間、昨年 11 月 25 日には、地方分権改革の基本的な考え方や今後の取組の方向についての提言を取りまとめ、「今後の地方分権改革の理念と方向」に関する提言」として、知事に提出しました。

その後、本年 3 月から新たな総合計画についての調査審議を進め、「現在の広島県を取り巻く社会経済状況等を基に、おおむね 10 年後を見据えた目指す姿を明らかにした上で、この実現に向けた取組の方向を示すビジョンを策定する」との方針を受けて、分野ごとの個別審議及び総論に係る審議を行いました。

その結果、広島県で取りまとめられた最終案「ひろしま未来チャレンジビジョン(案)」について、適当と認め、ここに答申します。

なお、ビジョンの推進に当たっては、分かりやすいリーフレットの活用や説明会の実施などを通じて集中的な広報・普及を図り、県民の共感を基に、県民主体で取り組む機運づくりに努められるよう、特に申し添えます。